

だより 便利堂 京都

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

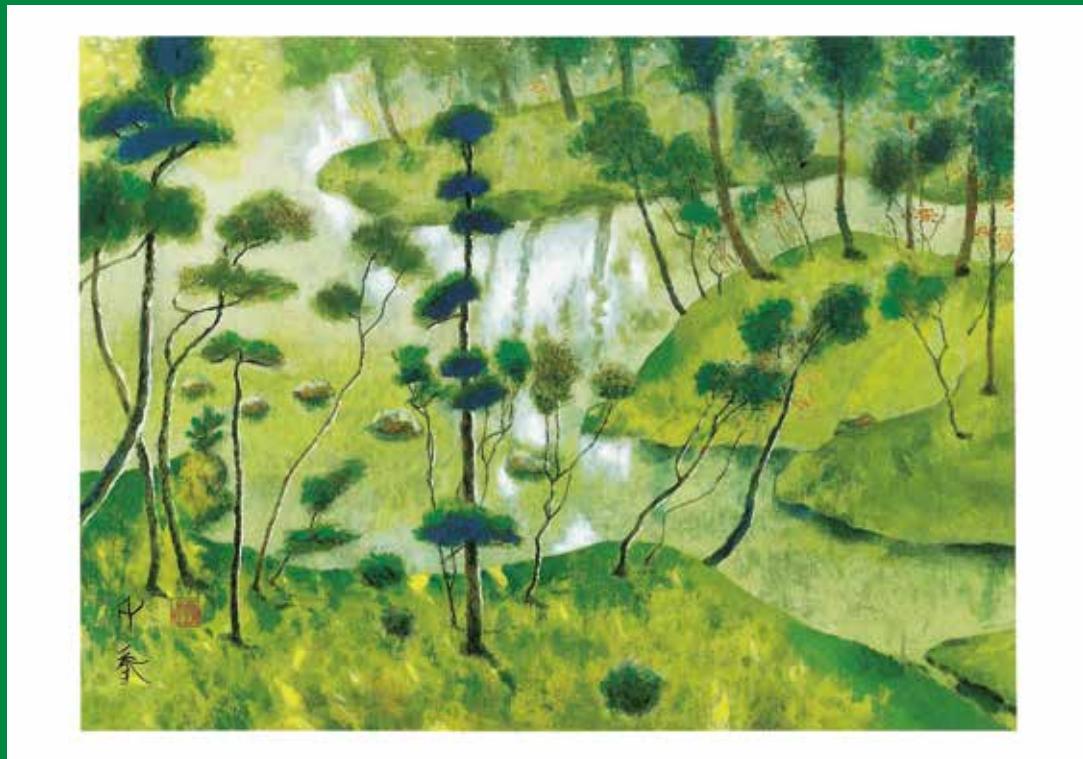
2025 VOL.19
5/6
初夏号

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

tupera tupera ツペラツペラさん

便利堂×tupera tupera○新商品プロジェクト〈京都はん〉誕生秘話



【特集】

〈京都はん〉まち歩き MAP

個性派ショップ 20 店○お気に入りの〈京都はん〉に出会う京都散歩

日本文化の美とともに
歩み続けて138年



アートのある暮らし

◎縮小絵巻物

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らす日常風景をご紹介していきます。



縮小絵巻物〈四季花鳥図巻〉酒井抱一
上・下巻 各¥5,940 / 上下2巻セット ¥13,200

『四季花鳥図巻』は、江戸琳派の祖、酒井抱一が四季折々の花鳥を上下2巻にわたって描いた絵巻物。とりどりの色彩と生き物に溢れ、見ていて楽しくなる作品です。〈縮小絵巻物シリーズ〉は現在26種のラインナップ。京都の経師による手仕事で一本一本丁寧に仕立てられています。



今やすっかり必需品となったスマートフォン。15年前の2010年は4%だった携帯電話所有者のスマホ普及率は、昨年2024年には97%に達したこと(NTTドコモモバイル社会研究調査)。新しい技術の進歩で世界が塗り替えられるのは世の常ですが、スマホなどのデジタルデバイス登場以前と以後で、人々の思考や行動パターンは今までとは桁違いに大きく変化したようを感じています。

我が子はもちろん、デジタルネイティブ世代。デジタルデバイスに首つたけな日々です。楽しみも情報も創作も何もかもが掌の上で可能となる秘密の箱。近づいて画面を見ようとしようものなら「見ないで!」とぶいと逃げられる始末。少々苛つきつつも、親に干渉されず自分だけのプライベートな世界で存分に楽しみたいという気持ち、子ども

のスタイルですが、その形状を見るたびに思い起こすのは、デバイスそつくりな「プライベート感」です。手で持った絵巻物を肩幅ぐらいに広げ、文章や絵が次々に現れる画面を巻いては拡げを繰り返し夢中になって読み耽る昔のやんごとなき人々を想像しては、デバイスのスクロールを繰り返す私たち現代人との共通点を想います。大きく時代が変わつても、画面に没入する感覚は実はあまり変わっていないのかも。

京都便利堂の〈縮小絵巻物シリーズ〉は、国宝をはじめとする名品をお手元で気軽に楽しめる縮小サイズの複製です。デバイスをスクロールするように絵巻物を楽しんでみませんか?

本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

『苔寺』堂本印象
昭和48年 京都文化博物館蔵

洛西にある西芳寺は、庭園を覆う苔の美しさから「苔寺」の愛称で知られています。その庭を描いた本作に漂う穏やかな空気から、ふと頭に浮かんだのはバーネットの小説『秘密の花園』でした。街中からはやや離れた場所にあり、道すがら気軽に門をくぐることができないところがそう思わせたのかもしれません。耳を澄ませると木々や苔のざわめき、ここに住もう生き物の息吹が伝わってくるようです。庭の黄金池には美しい水がゆらめき、潤いを湛えた緑が瑞々しく表現されています。

一面の木々は健やかさがうかがえるように枝を自由に伸ばしています。庭師の方の丹精や寺の人の愛情によってのびと育まれた緑は、訪れた誰しもの心をなぐさめるに違いありません。身体が浄化されるような空気とそこへ降り注ぐ日差しがあいまって、ここはなんと祝福された場所なのかと思いました。

堂本印象は京都で生まれ育った近代日本画の大家です。彼が生涯で最も多く104枚もの襖絵を描いたのが苔寺でした。絵はがきからは足繁く通ったであろうこの地を印象がとても愛したことが伺え、苔むした庭に身を置いて楽しげに筆を運んだ様子が思い浮かぶのです。

表紙の絵はがき：
『苔寺』堂本印象 ¥110

QRコード

2025 VOL.19
5/6 初夏号

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー	
tupera tuperaさん	04
季節のごあいさつ⑯	10
美術はがきソムリエからの定期便	11
【特集】 〈京都はん〉まち歩き MAP	12
Information	16

2025年
5月1日発行
(奇数月発行)
企画・制作・発行 株式会社便利堂
Director 鈴木巧
Chief Staff 中嶋直子
Staff 西川愛 / 増尾麻黄 / 渡邊葵
※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

ばならないとの思いから、この20年ほど写真家を中心とする現代アーティストとのコラボレートに取り組んできました。そして今後さらに多くの方にこの技術を知つてもらいたいと考へた時に、「アートの専門知識はないけどどう方々との橋渡しをしていただけうなもの、素敵なものが好き」というのがツペラツペラさんでした。そこでダメ元でメールをしてみたら中川さんがお返事をくださって。

—— 整社をご存じだつたんですか？

亀山..いや、実は敦子のお父さんの勤め先がNISSHA株式会社(昭和4年創業の京都の老舗印刷会社)なんですよ。便利堂さんからお声かけいただいたことを話したら「京都で印刷の会社といえば便利堂や！ そんなんやらなあかん！」つて。(笑)

西川..うわあ、ありがとうございます！

中川..私たちも京都のものを作つてみ

ツペラツペラさんが描き下ろした原画を便利堂の職人がコロタイプで鮮やかにプリントした京都土産の新定番〈京都はん〉全20はんが4月18日に新発売されました(写真は作業中の校正刷)。



作るならなるべくこの「手仕事感」が伝わるものにした方がいいねと二人で話しました。



—— そこへ西川が。

西川..ツペラツペラさんの制作方法が切り絵のようにパーツを組み合わせて作品作りをされているので、版画技法であるコロタイプで同じようにパーツを版で刷り重ねていつたら、今までに

か、せっかくなのに」つておっしゃつたんですよ。だつたらあえて「版ずれ」をさせて「クラフト感」や「手刷り感」を出してみるはどうだろう？ つて。「まさにそれがやりたかったんです！」と、私たちが今回のプロジェクトの肝

たいなと前から話していく。京都に住んでもうすぐ10年になりますがどんどん京都を好きになつてしているので。京都の会社さんからお声かけただくような機会があれば、一緒にものづくりができるらしいなつて思つていました。



西川..そこで「若い世代の方へコロタイプの良さを伝えたい」、「紙モノでコロタイプに適した商品を作りたい」と希望をお伝えしたところ、ツペラツペラさんから挙げていたのが「京都みやげ」というテーマでした。

西川..お一人にはコロタイプ工房を見学していただきましたがいかがでしたか？

お二人にはコロタイプ工房を見学していただきましたがいかがでしたか？

—— 少しずつ形になつてきました。お二人にはコロタイプ工房を見学していただきましたがいかがでしたか？

として課題に挙げていたことを一瞬で見抜いてくださつたことがすぐくわしかつたです。

—— この丸い形はどんな風に生まれたんでしょう？

亀山..紅余曲折あつたんですけど、結局「コロタイプ」って名前がかわいいという話から…。

中川..そうそう、コロコロという響きを形にできないかなつて丸型を考えたんですよね。

西川..本当にいろいろアイデアを出していくだけで。

亀山..その中で「京都さん」っていうのが出たんですよ。でも版画なんやからせつかくなら版画とかけて「京都はん」がいいんと違うか？ つて。

西川..これ最強のネーミングです。飾れるものがいいのか、文具っぽいグッズがいいのかとか考えつつ…。

中川..自分たちが今作りたいと思つた京都の魅力を選んでみよう。だから

中川..やっぱりもののづくりの現場はかっこいいですね。私は大学でシルクスクリーンをやつていたので「うわーインクの匂いだ」と懐かしい気持ちになりました。あと工房にはいろんな印刷が重なつたヤレ紙があつたり、工房のいろんなものが気になつたりして。

亀山..僕も大学ではリトグラフを専攻していたのですが、コロタイプを見るのは初めてだつたので、どんな印刷のだろうか？ と興味津々でした。古くから使われている印刷機の動いている様子を見て感動したり、職人さんから平版と凹版の間の版種であるという説明を聞いて驚いたり。

中川..工房を見ていて思ったのは、コロタイプは色を重ねるのも見当を合わせるもの人の手ですよね。でも、その技術がありにも精密だからこそ手仕事の技術の高さが伝わりづらい気がしました。工房見学すればわかることがあります。商品でそれを伝えるとなると難しいだろうなど。だから作るな

らなるべくこの「手仕事感」が伝わるものにした方がいいねと二人で話しました。

西川..そう、中川さんは見学しながら「ここまで精密だと、コロタイプは手仕事つて伝わりづらいんじゃないですか？」



20作品の中には個人的な思い入れのあるテーマも入れました。出張から帰つて来たときに京都タワーを見上げると

「ああ帰ってきたな」と思うし、喫茶店文化も好きです。

亀山・候補はたくさん挙がったんですけど顔をつけてキャラクター化しにくいものは外してね。例えば二条城といえど虎の間」が有名ですが、よく見るとディテールとかも全部が虎っぽく

見えてきて。僕らは堀川通りをしようと車で通るんですが外の門が虎に見えたんです。まるで虎の口の中へ入っていく…みたいなイメージがあってこうなりました。

——どれもお二人ご一緒に考えていただいたんですね?

亀山・これはねえ、たくさんのテーマの中から「取り取り」していくのが楽しいんですよ。「あ、これ俺作る」「これ俺むりやから敦子やつて」みたいなのがお互い。そういうのが楽しいんですね。顔に関しては僕が全部入れてるんですけど、それ以外はどっちかが作ってるんです。一つを全部一緒に作ってるわけではないんですよ。

司はんや茶の湯はんは顔があることでぐつと親しみがわきました。

亀山・こういうものづくりってプロセスが全部いいんですよ。版画も版本の方がよくなつたりするので、そこらへんでいつも戦いがあります。ほんと今回は僕らも普段とは違うものづくりをまつて搖らぎました。

亀山・便利堂にとつても「京都はん」は普段とは違うものづくりでした。

西川・文化財複製は原本という正解がありますから、そこへ合わせていくのはすごく得意なんです。けれどもこんな風に「ゴールを作らないもののづくり」は今回が初めてでした。でも職人のみんなは四苦八苦しつつも一丸となつて取り組んでくれました。

中川・コロタイプの職人たちが、あれだけ何度もインクの調子や色の調子を合わせて、最後の最後は手の感覚で決めていく。そうして手間惜しまずやつてくださっていることが、商品からもにじみ出るようなものになれば

一番いいなつて思つたんですよ。

西川・ありがとうございます。私はそんなん今までとは違うアプローチのものづくりが楽しくて仕方なかつたですね。大変と楽しいつて表裏一体なんや



本番の印刷の立会いチェック



本機での校正刷



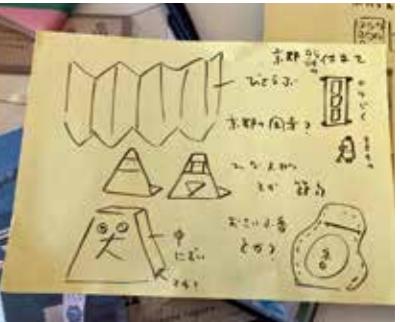
最初のテスト刷



版下(色ごとにシートを分けた5枚の原画)



最初の打ち合わせ風景



初回のアイディア出し

亀山・だつて「京都はん」ですから。

中川・そう。私たち、常に「顔をつけちゃう症候群」なので。(笑)

顔つて一人ひとつ持つてますし、言葉が話せなくとも喜怒哀樂つてわかりますよ。顔はみんなが共感できるいいモチーフなんですよ。

——顔つて一人ひとつ持つてますし、言葉が話せなくとも喜怒哀樂つてわかりますよ。顔をつけたくなっちゃうんです。

亀山・作品と目が合うのがいいんです。顔つて一人ひとつ持つてますし、言葉が話せなくとも喜怒哀樂つてわかりますよ。顔はみんなが共感できるいいモチーフなんですよ。

——今日は、原画を1色ごとの版下で描いていただいたと聞きました。

西川・そうなんです。「完成した絵」だと、そこから色を取り出し、完成した絵に合わせていくという「今までの複製制作と同じ工程」になるんです。それでは当初の「パートを刷り重ねて今までにない風合いのコロタイプを作ろう」というコンセプトから外れてしまします。そこで1色ずつトレーシングペーパーでパートの版下を描いていた

メージが掴みづらいので大変だったと思うのですが…。

中川・…そうするものだと思ってたよね?

亀山・…そうそう。版画なので、1版ずつ原画を作るべきだろうと。

西川・この色とこの色を重ねたらこうなる…という想像をしてくださったんですか?

——最後に「京都はん」と目が合つた方へメッセージをお願いします。

中川・「京都はん」には、普段の京都と旅先の京都、どつちもが混ざり合っています。京都にしかない印刷技術を使つて、紙の厚さや大きさなど細部までこだわつて作ったので、ぜひ手に持ちで買ってもらえたうれしいですね。あと、レコードジャケットを飾るみたいに、部屋のどこかに飾つてもらえたうれしいな。

亀山・絵本つて子どものものと思われがちなんですけど、本当は大人から子どもまで楽しめるものですね。「京都はん」も、ぜひ大人の方にも楽しんでほしい。だって大人も「元子ども」ですからね。子ども心つて全ての人にとって共通する大切なテーマだと思うんですよ。大人も子どもも一緒に「京都はん」で版画のおもしろさやコロタイプのすごさを知つてもらつて、京都のモチーフを楽しんでもらう機会になると嬉しいなつて思っています。

中川・単純に赤と黄色を混ぜたらオレンジ、みたいな何となくのイメージですけど。なにしろ私たちも確証がないから制作中は不安ですね。

亀山・僕ら普段からパソコンを使わないと、頭の中でちゃんとイメージできる状態にするんでしようね。計算してちょっとずらしたりとか。でもそういう風にすると予定通りのものになつておもしろくない。せっかくならやつたことないことをやろうつて。

——初めてテスト刷をご覧いただけたときはいかがでしたか?

亀山・「京都はん」は色数が1作品あたり5色と決めました。でも僕らにしたらほんとにたつた5色でこの全部を表現できるの? って不安でした。だからテスト刷を見たときには「こうなるのか!」って驚きと、「思つてたのと違つた」つていうのも正直あつたかな。ここは意外とおもしろく出たねとか言いつながら…。

中川・うん、めっちゃおもしろかつたですね。1版目と2版目を重ねたもの、



全20種 新発売 各1,310円
市内20か所のサテライトショップで
京都めぐり

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラツペラとコラボレーションした新しいカードシリーズ。「京都のさまざまなもの」をモチーフにツペラツペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラー「コロタイプ」技術でプリントしました。贈つても、使っても、飾つても、楽しむ京都みやげの新定番です。「京都はん」の「はん」は「版画」と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

【京都 薦書店にて発売記念イベント開催!】

- ①「京都はん」ポップアップショップ
全20はんが期間限定でずらり勢揃い。
期間：4月18日（金）～6月30日（月）
※期間終了後は祇園祭はんのみの販売となります。

- ②tupera tupera サイン会＆クロストーク
「京都はん」の誕生秘話を tupera tupera と京都便利堂（コロタイプマイスター・山本と担当・西川）が語り尽くします。
当日店頭で購入いただいた方限定でサイン会も開催。

日時：5月31日（土）

サイン会 17:00～18:00

クロストーク（受付）18:40

（開始）19:00～20:00

上記会場：京都 薦書店（P.14 MAP ③）



ゴールデンウイーク

4月末から5月初め

「手紙なんてちょっとおおげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちょっと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょうか。

Season Greetings vol.19

「ゴールデン」な休日
ゴールデンウイークは、ご存知の通り初夏の行楽シーズンに休日が続く皆さんお待ちかねの期間のこと。「今年は11連休!」なんて方もいるかも知れません。どこに行つても人も車も多いのですが、それを承知の上でもおでかけしたくなるようなら、小さな陽気が他に代え難い魅力です。まさに「ゴールデン」な休日といえますね。

ゴールデンウイークの語源
その語源が、大映(大日本映画製作株式会社)が作成した宣伝用語であることをご存知だったでしょ

ゴールデンウイークの過ごし方
毎年の大型連休、皆さんどう過ごされていますか?あるアンケートで最も多かったのが、「自宅で過ご

季節こそ、親族が集うタイミングにしてはいかがでしょう。酷暑のお盆が、休日の方はぜひ気候のよいこの季節こそ、お誘いはもちろん、久しぶりの友人へ「ちょっと顔が見たいね」といったお便りなど、季節の絵柄を添えたメッセージがいつもと違う連休へと導いてくれるかも知れません。

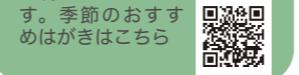


《鳥獣戯画式(ゾウ)》錦形蕙斎



《花菖蒲》福田平八郎

便利堂公式オンラインショップでは、このシーズンにピッタリな絵はがきをご用意しております。季節のおすすめはがきはこちら



定期便 浮世絵の美

定期便シリーズは
こちらから!

- 毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。

- 月々わずか1,000円(税・送料込)

■半年間6,000円:月々1,000円(税・送料込)×6ヶ月※

- 今回も特典が盛り沢山!

①毎回、浮世絵の世界をやさしく解説した
(特製ブックレット)付き

②全6回一括払いでのお申し込みの方に
プッシュpin式絵はがき立てをプレゼント(先着100名様)



③さらにもれなく2大プレゼント

- ◆初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉
- ◆最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵A5変形クリアファイル〉(定価385円)をプレゼント

*途中解約はいつでも可能です。月々の都度払いはクレジットのみとなります。

くわしくは専用サイトをご確認ください。

毎月のお楽しみ○「美術はがき」がある暮らし

美術はがきソムリエからの定期便

第2弾

浮世絵の美

6月〈歌麿と写楽〉



1

6月〈歌麿と写楽〉



2

6月〈歌麿と写楽〉



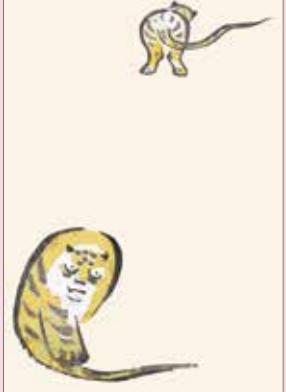
3

6月〈歌麿と写楽〉



4

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



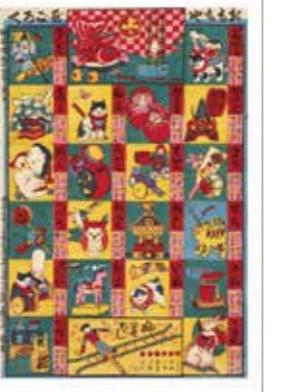
5

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



6

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



7

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



8

好評発売中の「美術はがきソムリエからの定期便」第2弾『浮世絵の美』から5・6月号をご紹介します。5月のテーマは「ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界」。最小限の線で秀逸に表現されたコミカルな動物たちと、双六や切り貼りして作る組立絵などおもちゃ絵の数々。つい幼少期を思い出してワクワクするはず。6月は「歌麿と写楽」役者絵の写楽。作品の魅力の裏にある、しげを削った浮世絵師たちと版元「葛重」の働き、彼らのドラマティックな生き様をご紹介します。

毎月ふみの日に
ソムリエが厳選した美術はがきが
6ヶ月間ご自宅に届きます。



増尾麻黄(ますお・あさぎ):
美術はがきソムリエとして、手のひらサイズの美術館(絵はがき)の楽しみ方をご提案します。《鳥獣戯画式》は、今回絵はがきになっていない人物画もおすすめです。むぎゅっとした行列が良き。店舗で見かけたらぜひお声をかけてください。

市内 20箇所のサテライト
ショップを掲載したベンリな
'京都はん'専用スマホ地図を
ご用意しています。

今、近くの'京都はん'に
会いたい!
次のサテライトショップまで
どうやっていけばいいの?
と思った時に
ご活用ください。



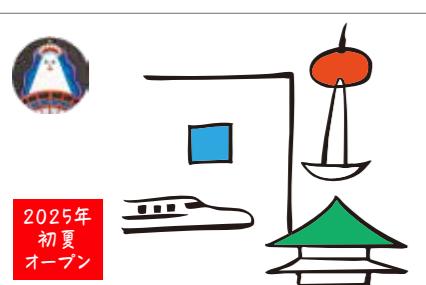
京都便利堂本店では全 20 はん、公式オンラインでは
'舞妓はん'/'京都タワーはん'の2種をご購入いただけ
ます。便利堂本店の店舗情報は 16 頁を参照



「一澤信三郎帆布」や「染司よしおか」など京都のお店とコラボした実用的で美しい商品も

【MAP 1】 museum shop Zplus (ZENBI -鍵善良房)

京菓子の老舗によるミュージアムショップ
享保年間の創業以来、祇園で季節の味を届け続ける
鍵善良房。「町の文化サロンのような場を」との想
いから生まれた美術館'ZENBI-鍵善良房-KAGIZEN
ART MUSEUM'のショップでは「手のひらに乗るギ
フト」をテーマに Zplus 限定の菓子やお詫びの商品
が揃います。● 075-708-7311 営業時間 10:00 ~
18:00 定休日: 月曜 (休祝日の場合は翌平日)



京都の玄関口とは思えない静かな空間。ギャラリーではワークショップも

【MAP 2】 Vermillion - station.

町家で味わうのんびり京都時間
この夏、新たな憩いの場として誕生予定の「バーミリオ
ンステーション」は、東本願寺正面に位置する町家に
カフェとギャラリー、セレクトショップが一つになった
お店。2階テラスから京都タワーや東本願寺を眺めつつ
自家製ブランチと香り高いコーヒーを楽しんだ後は、「贈
る土産もの」がコンセプトのオリジナルグッズをぜひ。
● 営業時間 7:30 ~ 18:00 (予定) 定休日: 不定期



鞍馬天狗はん



京町家はん



にんそばはん



葵祭はん



五山の送り火はん



喫茶店はん



茶の湯はん



時代祭はん



金閣寺はん



渡月橋はん



鯖寿司はん



二条城はん



京野菜はん



東寺の五重塔はん



京都タワーはん



[特集]

<京都はん>まち歩き MAP

個性派ショップ 20 店 ●お気に入りの<京都はん>に出会う京都散歩

京都は新緑真っ盛り。のんびり、ぼちぼち、まち歩きにぴったりの季節です。
さまざまな顔を持つ<京都はん>は全 20 種類。市内 20 店舗のサテライトショップにて
各 1 種類の<京都はん>を販売しています。全種を集めてもよし、
お気に入りの 1 枚を求めて訪ねてもよし。各店であなたとの出会いをお待ちしています。



鴨川はん



舞妓はん



祇園祭はん



八ツ橋はん



伏見稻荷はん



手に取りたくなるブックエンドは他にないかわいさ

ギャラリー

【MAP 18】



PolarStar ポーラスター

空間そのものが作品のような佇まい

金閣寺近くの西陣エリアに佇む90年間使われていなかった町家を、オーナーの富金原塊さん自ら修繕し誕生したギャラリースペース。「Studio Enju」の陶器や様々なクラフトアイテムのほか、カフェスペースでは洋菓子店「こむぎと」のお菓子も。随所にこだわりが詰まった空間へぜひ。● 075-468-3276 営業時間11:00~18:00 定休日:不定休



台所からテーブルまで暮らしを素敵に彩るスタイルを提案

セレクトショップ

【MAP 15】



ANGERS bon repas 烏丸店(京都八百一本館)

おいしいごはんの名脇役と出会える

こだわりの八百屋「京都八百一本館」の2階にあるのがアンジェ ボン・ル・パス烏丸店。広々とした空間には「食」をテーマにセレクトされた世界中の雑貨が並んでいます。作家さんの1点ものや、あるとうれしいキッチンツール、料理の専門書など、ついでに長居をしたくなる魅力的な品揃えが満載です。● 075-223-2010 営業時間10:00~21:00 定休日:1/1・2



想像力を刺激される本の並びに棚の前からなかなか動くことができません

書店

【MAP 12】



誠光社

気取らない雰囲気の独立系書店

扉を開ける前から本との出会いに胸が高鳴ります。「本屋は街の光」。土地に根付き店と客が呼応しあう「これからの当たり前」を目指して、店主の堀部篤史さん自ら選んだ書籍が整然と並びます。自分の興味が縦横無尽に広がる体験はここならでは。原画展や対談などイベントも多数。● 075-708-8340 営業時間10:00~20:00 定休日:無休



斜め前の浄土寺センターには古書のほか作家ものの陶器や生活雑貨などが並ぶ

書店

【MAP 9】



ホホホ座 浄土寺店

ここでしか出会えない1冊を探しに

大文字山を背景に、銀閣寺や法然院、哲学の道からもほど近い人気の浄土寺エリアにあるホホホ座。自称〈やけに本の多いおみやげ屋〉という店内には、所狭しとコアな左京セレクションがずらり。本作りのほかイベントなど多岐に渡る活動で京都に熱い風を吹かせる1軒です。● 075-741-6501 営業時間11:00~19:00 定休日:無休



フロアごとに異なる世界は、まるで宝探しをするような気持ちになります

セレクトショップ

【MAP 6】



ANGERS アンジェ 河原町本店

古い銀行を改装したクラシックな建物

1階から3階までのフロアには「上質な暮らし・美しいデザイン」をテーマに、ステーションナリーはじめファッション、ボディケア、キッチン用品など日本・北欧を中心に独自の美意識で世界中から選んだ商品、日本のグッドデザインや伝統工芸品のほかオリジナル商品が数多く並んでいます。一生の宝物に出会えるお店です● 075-748-7857 営業時間9:00~17:30(季節により変更あり) 定休日:不定休



地域の歴史を語り継ぐ情報発信の場としても活躍

セレクトショップ

【MAP 3】



朱 SHU. by Vermillion

歴史を紡ぐ憩いの場で思い出の品を

ご自分や大切な方のために"贈る土産もの"がコンセプト。伏見稻荷大社の千本鳥居の朱色を店名に掲げた店舗には、心惹かれるストーリーのついた商品、日本のグッドデザインや伝統工芸品のほかオリジナル商品が数多く並んでいます。一生の宝物に出会えるお店です● 075-748-7857 営業時間9:00~17:30(季節により変更あり) 定休日:不定休



アート作品が飾られた広々空間はさらなる観光地のオアシスです

カフェ

【MAP 19】



ブック&カフェ tutti (ホテルビナリオ嵯峨嵐山)

嵐山散策で立ち寄りたいブックカフェ

JR 嵐山駅より徒歩1分、ホテルビナリオ嵯峨嵐山内にあるtutti(トゥッティ)は本と雑貨が楽しめるカフェ。ふたば書房とコラボしたハイセンスな和雑貨や書籍が楽しめます。豊富なカフェメニューは京都のお揚げや丹波産の卵など地元食材をたっぷり使っているのがうれしい。● 075-871-9711 営業時間8:00~17:00 定休日:無休(年始に休館あり)



京都や日本にちなんだこでしか買えないアイテムが数多くスタンバイしています

セレクトショップ

【MAP 16】



ビームス ジャパン 京都(新風館)

匠からサブカルチャーまで大集合!

日本をキーワードに、「これぞ日本だ」といえる様々なコンテンツをキュレーションするBEAMS JAPAN。その発信拠点が新風館1Fに。全国各地の丁寧な手仕事で作り出された世界に誇れる逸品や遊びゴコロ溢れる"なんかいいね"などをセレクト。日本の魅力を世界に発信しています。● 075-708-6848 営業時間11:00~20:00 (L.O.16:30) 定休日:第2水曜日



暖簾が自印。店へ一步踏み入れると香ばしい香りに全身が包まれます

お茶

【MAP 13】



一保堂茶舗 喫茶室 嘉木

店内の喫茶室で心の渴きも癒すお茶を

約300年前に創業後、お茶の品質のよさから山階宮より「茶一つを保つように」と賜ったのが一保堂の屋号の始まり。以来お茶に向き合い多くのファンに愛されています。好みや用途を丁寧に聞き取りつつ、淹れ方まで優しくレクチャーしてもらえるのは老舗の専門店ならでは。● 075-211-4018 営業時間10:00~17:00 (L.O.16:30) 定休日:第2水曜日



店先にずらっと並んだ天狗のお面が自印

おみやげ

【MAP 10】



鞍馬かどや

鞍馬寺お参りのあとにほっこり一息

鞍電車鞍馬駅を降りてすぐの角にあるから「かどや」。店内には所せましとお土産品が並び、なかでも刻んだ茎わかめと山椒を炊いた「くらま時雨」、自家製の「ちりめん山椒」が参拝土産として人気のひとつ。アットホームな雰囲気の中、本格的なうどんや丼、ぜんざいなどがいただけます。● 075-741-2029 営業時間11:00~17:00 定休日:不定休



コーヒーを飲みつつ読書を楽しみ、併設されたギャラリーで文化に触れよう

書店

【MAP 7】



京都岡崎 蔦屋書店

京都を代表する文教地区でカルチャー三昧

神社仏閣や美術館、動物園などの文化施設が集まるエリア・岡崎にある蔦屋書店は、かつて京都会館として親しまれた「ロームシアター京都」にあります。「アート」「日本の暮らし」「ON JAPAN」をテーマに厳選した本やメイドイン京都の雑貨が並び、人とアートを繋ぐ"GARELLY EN"も。● 075-754-0008 営業時間10:00~20:00 定休日:不定休



コーヒーを飲みつつ読書を楽しみ、併設されたギャラリーで文化に触れよう

博物館

【MAP 4】



京都国立博物館 museum shop(南門)

品揃えが自慢の美術商品で美術品を身近に
三十三間堂のお向かい、京都の文化財を中心に収蔵する京都国立博物館の南門ショップでは、「日本、京都の文化を持ち帰ろう」をコンセプトに、所蔵品はがきや鳥獣戯画グッズ、縮小の巻物や屏風など日本の美しい文化財をモチーフにした美術商品が一堂に。● 075-551-2369 営業時間9:30~17:00 (金曜は20:00まで) 定休日:月曜日(休館日に準じる)



豊かな境内を散策した後は東寺ゆかりのお土産を探しに売店へ

お寺

【MAP 20】



東寺(教王護国寺)

唯一残る平安京の遺構

東寺はおよそ1200年前に創建。新幹線の車窓から見える五重塔は約55mと木造の建築物としては日本一の高さを誇り京都南口のランドマークとして知られています。毎月21日の「弘法さん」には露店が建ち並び賑わいます。● 075-691-3325 開門時間5:00~17:00 (拝観時間:金堂・講堂8:00~/観智院・宝物館(公開時)9:00~/いずれも16:30受付終了)



書店やカフェ、ギャラリー、印刷工房をリンクして自由に過ごすことができます

書店

【MAP 17】



大垣書店 堀川新文化ビルヂング店

「堀川の暮らしに、豊かさを」をテーマに

伝統的なものづくりが行われてきた西陣の近くにある「堀川新文化ビルヂング」は大垣書店が運営する複合施設。誰もが気軽にアートやクラフトなどに触れ合える「文化のプラットフォーム」を目指しています。その発信拠点である1Fの大垣書店は書店の枠を超えた様々な新たな取り組みを行っています。● 080-7078-7222 営業時間10:00~18:00 定休日:月曜日(休館日に準じる)



書籍の柱は「歴史」「美術・工芸」「映画」の3ジャンル。京都ならではのお土産もぞら

博物館

【MAP 14】



museum shop Quql(京都文化博物館)

展示を観た後もよし、観る前もよし

博物館1階のQuqlは「大垣書店」と製本会社の「藤原製本」がタッグを組んで生まれたミュージアムショップ。書籍や雑貨、京都土産はいずれもアートを生活に取り込むきっかけとなるラインナップ。自分や大切な方への贈り物を探す際、訪ねたい1軒です。● 080-7078-7222 営業時間10:00~18:00 定休日:月曜日(休館日に準じる)



店名は店がある出町柳が鰯街道の終着点、京都の入口であることから命名

書店

【MAP 11】



CAVA BOOKS(出町座)

京都カルチャーの拠点で文化に浸ろう

京都でも有数の規模を持つ商店街として広く京都市民に親しまれた出町柳が鰯街道の終着点、京都の入口であることから命名された「CAVA BOOKS(出町座)」。サヴァ・ブックスはその1階にある本屋さんです。上映作品に合わせて作り替える書棚には映画を見たあと手に取りたくなる本が並びます。● 075-203-9862 営業時間9:00~21:50 定休日:無休(年末年始を除く)





Information

京都便利堂本店

〈京都はん〉全20はんを揃えてお待ちしております！

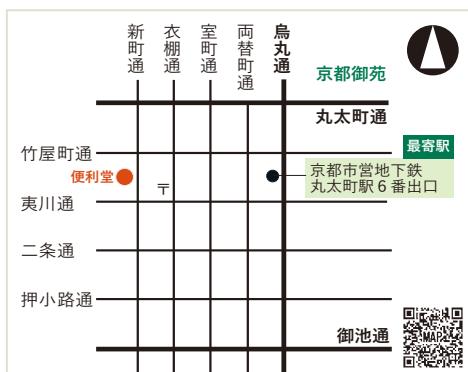
便利堂本社1Fには、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00
 【定休日】 日・祝日 (GW中は無休)
 【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido

X@kyotobenrido

facebook@kyotobenrido.shop



【アクセス】

〒 604-0093

京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でおこしの方〉

- 市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ⑥番出口より徒歩7分
- 市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩5分



〈お車・タクシーでおこしの方〉

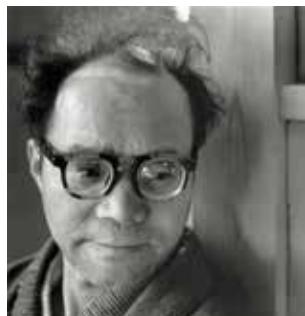
- 京都駅から 15分、お客様駐車場あります。
- タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上る」とお伝えください。

コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー〈春季〉企画展示【ギャラリー1】

Francis Haar フランシス・ハール〈1950年代の日本の芸術家〉

左より：柳宗悦 / 棚方志功 / 河井寛次郎 / 北大路魯山人



京都便利堂本店がある便利堂本社には、〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。現在ギャラリーでは、第2次世界大戦中の欧州から数奇な運命で日本に逃れ、生涯を通して日本文化を海外に発信したハンガリー写真家フランシス・ハールによる「日本の芸術家」13人の肖像写真を好評展観中です。

会期：2025年4月10日(木)～5月31日(土)
 開廊：10:00～12:00/13:00～17:00
 休廊：日・祝日 (※ただし KYOTOGRAPHIE 開催期間の4月12日(土)～5月11日(日)は、無休
 入場：無料

※ギャラリー2では5月11日まで「*恵みの循環* 木下大輔 / 櫻井朋成 / Fanny Boucher」展を開催 ※次回展は6月16日より「第12回コロタイプのおもしろさ展」を開催